

# EITAC一般社団法人 弾性波診断技術協会

## 平成 29 年度 EITAC 技術シンポジウムプログラム

### 「地中の見えないものを見る技術の現状と展望」

～附属物スクリーニング調査技術・補強技術・管理対策の現状と課題～

【CPD 及び CPDS 認定講習会】

- 主催: (一般社団法人 弾性波診断技術協会アカデミークラブ)  
●協賛: (公社)地盤工学会、(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所  
【一部未定】 (一社)日本非破壊検査工業会、(一社)全国建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会 関東支部  
(公社)全国宅地擁壁技術協会、(一社)全国道路標識・標示業協会、日本テールアルメ協会  
(順不同): 鋼製防護柵協会、(一社)日本アンカー協会、フリースレーム協会、(一社)PCM工法協会  
干葉工大技術士会、蔵前技術士会、(一社)SCFR工法協会、KTB 協会  
(一社)全国地質調査業協会連合会、地盤品質判定士協議会、基礎工/総合土木研究所

#### ＜開催目的＞:

国土交通省は、社会資本の維持管理、更新を重要課題としており、既に一部の民間資格の採用を開始するに至っております。そこには PDCA サイクル(Plan,Do,Check,Act)における、評価(Check)を行う為の非破壊試験技術の重要性、将来性が社会貢献に役立つと期待されております。

現在、標識等の支柱の点検は【付属物(標識、照明施設等)点検要領】で指針が示されていますが、支柱地際の点検について、一定の条件で掘削を伴った近接目視点検が主流となっております。但し、掘削を伴った点検では、工期や費用が莫大にかかり、管理している全数の点検は難しい状況です。

機器を用いたスクリーニングを一時点検として用いることにより、掘削する本数を大幅に削減することが可能で、効率的な点検を行うことが可能になります。

そこで、今回はこれらの地中の見えないものを見る技術と損傷部分の補強・管理対策など、総合的な点検手法と維持管理対策のシンポジウムを開催します。

#### ＜開催日時・場所＞:

平成 29 年 9 月 7 日(木) 13:00～17:00

機械振興会館(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8)(地図参照)

＜プログラム＞ (進行)国土館大学 理工学部 教授・アカデミークラブ委員長 橋本 隆雄  
開会挨拶 理事長 上林 弘

第1部:特別講演 13:05～13:35

- 演題:「小規模付属物点検要領について」

国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路管理課 課長補佐 増田 善智

<休憩>

10分

第2部:附属物スクリーニング調査技術・補強・管理対策の現状と課題 13:45～15:25 (各 20分)

- 2-1 道路附属物の点検における課題と今後の展望

EITAC 技術委員長 新美久仁彦

- 2-2 非破壊試験による「パンザマスト柱」の腐食診断結果と評価

株式会社アークノハラ 永井 達雄

- 2-3 非破壊検査を用いた大型道路標識点検

昭和工業株式会社 福田 雅志

- 2-4 根腐れ防止補修・補強工法(SCFR 工法)

富国工業株式会社 小西 弘晃

- 2-5 付属物点検とデータベース化

宮川興業株式会社 石井 和夫

<休憩>

10分

第3部:パネルディスカッション 15:35～16:35

- 「付属物(標識、照明施設等)の支柱路面境界部以下の変状を

非破壊で検出できる新技術について」公募調査結果について

コーディネーター・職業能力開発総合大学校 名誉教授 橋本 光男

第4部:EITAC の取組みとその技術の紹介 16:35～17:00

- 非破壊検査技術の普及活動と会員の技術研鑽について

副理事長 藤井 俊逸

閉会挨拶

専務理事 矢野 隆弘

\* 講演内容は変更となる場合がございますのであらかじめご了承ください。